

第32回

# 難病・遺伝医学 セミナー

講演: Lynch症候群を引き起こす様々なゲノム異常

2021年

10月27日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介: 赤木 究先生

埼玉県立がんセンター がんゲノム医療センター (センター長) / 腫瘍診断・予防科 (科長)  
座長: 岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)  
司会: 新井正美 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要: Lynch症候群は、4つのミスマッチ修復遺伝子のいずれかに機能不全をもたらす生殖細胞系列のゲノム変化により、大腸がんや子宮体がんなどに易罹患性を示す常染色体優性遺伝症候群である。その頻度は、一般人口の300~500人に一人と推定されており、最も頻度の高い遺伝性腫瘍である。最近では、ミスマッチ修復機能不全が免疫チェックポイント阻害薬の重要なバイオマーカーの1つであることから、がんの免疫療法を検討する過程でリンチ症候群が疑われる機会が急激に増えてきている。確定診断には遺伝子検査が必要であるが、現在の方法では、検出が難しい遺伝子異常が少なからず存在している。こうした問題点を解決するために、わたくしの研究室ではDNAとRNAを用いた遺伝子診断を行っている。予測の難しいスプライシング異常を引き起こすバリエントや複雑な構造異常などは、これまで見逃されてきた可能性がある。本講演では、リンチ症候群を引き起こす様々なゲノム異常について話題提供する予定です。

申込方法: 以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。  
※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/6Xii8JUB48hzkACK7>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

10月26日 (木) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター  
新井/原田 (内線71407/5167)  
共催: 順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

